



発行

下関市防災協会
下関市岬之町17-1
☎ 083-233-9114
Fax 083-233-9122

会報 ぼうさい

No.412

監修

下関市消防局
予防課



謹賀新年

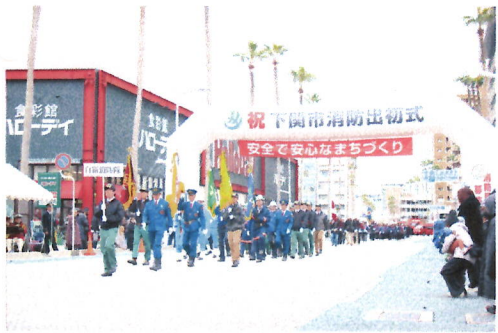


年頭のごあいさつ

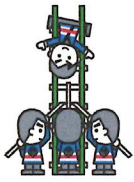
下関市防災協会
会長 波田 兼昭

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎え、会員事業所の皆様方に謹んで新年のお慶びを申しあげます。
平素は当協会の運営に際し、会員の皆様に多大なるご指導、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、自然災害の猛威はとどまるところがなく、下関市においても7月の大雨による被害は家屋倒壊、一部損壊や道路・河川などの被害が発生し、日々の生活に多大な影響が出ております。台風や集中豪雨などの自然災害の発生は、ある程度の予測はできるものの、「自分のところは自分が守る」を念頭に事前に万全な対策を立て被害の軽減を図り、さらには地域の共助にもご尽力いただきたいと思います。
また、昨年の下関市の火災件数につきましては、81件と一昨年と比較して8件増加しましたが、大規模火災の発生もなく越年できましたことはご同慶の至りに存じます。
当協会といたしましても、地域社会及び行政と連携し、事業を積極的に展開するとともに、減災、出火防止にお一層尽力し、「安全・安心」の実現に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
おわりに本年が災害のない平穏な年となりますとともに、会員事業所の皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます、年頭のあいさつとします。

令和7年下関市消防出初式挙行



らにが動の下のさ太場のるブ女消
れよ行に永関海わ鼓に分員性防
まるわ多年市峡し演て列総防職
し万れ大勤長メい技は行勢火・
た。歳、な続のッ華がし進8ク
三波功表式セが盛ごが5ラ員、
唱田績彰辞下添大乗行6ブ、
で防のとに関えにりわ人、幼災海
締災あ平続でら披演れ消年協
め協っ素きのれ露技た消・会
く会たの、式典しれ、海海両年
く長方火防防でた。新峡峡25消
々へ・の防・表彰活員田ふい広よ
の防・表彰活員田ふい広よ



受賞おめでとうございます



勤続表彰（自衛消防隊）

令和7年下関市消防出初式で
次の個人と団体が表彰されま
した。（敬称略）

下関市長表彰 一般表彰

【個人】

彦島第二自治連合会 会長 二見 勝敬
小月女性防火クラブ 会長 角谷 咲子

【団体】

マルハニチロ株式会社 下関工場
株式会社奥野壽久商店
ゆめマート川棚
上田部自治会

勤続表彰

【三〇年勤続】

下関三井化学株式会社
原 嘉昭
大深 直俊

【一五年勤続】

丸一ステレンス鋼管株式会社
末富 則之

【一〇年勤続】

丸一ステレンス鋼管株式会社
川添 慶太
彦島製錬株式会社
森本 渉太



令和6年度下関市防災協会

視察研修を終えて 事務局



令和6年度の視察研修は、平成29年豪雨災害の被災地である福岡県東峰村を訪れ、災害伝承館で研修を受けました。講師を務めていただいたのは、被災時に消防署長として尽力され、退職後に災害伝承館の館長になられた阿波氏で、災害の記録を保存し、災害を風化させない、そして後世に災害を伝えることを目的として、九州大学災害調査・復旧・復興支援団の協力を得て開設されたとの説明を受けました。この豪雨による主な被害は、福岡県内で37名の尊い命が失われ、2名が行方不明となっている。家屋被害についても、過去の豪雨による被害形態と異なり、床上及び床下浸水の家屋（620件）を、全壊及び半壊した家屋（1109件）が上回るという、これまでに例のない甚大な家屋被害が発生している。

さらに県内の公共施設被害額は、約1100億円で、平成24年九州北部豪雨による被害額の3倍を超え、過去に類を見ない最大規模となったというものでした。一昨年の下関市で発生した梅雨期の風水害被害が110億円と言われる規模で過去最大との市の発表がありましたが、東峰村ではわずか9時間で700ミリを超える記録的雨量で、下関の10倍の被害を受けたと考えると、改めて当時の被害状況に慄くばかりでした。

研修に参加して改めて感じたことは、様々な災害の状況を見聞きし、学び、いかにこれから活かせるかであり、地震や風水害発生時の初動体制をあらゆる想定のもとに確立させることが防災・減災につながると感じました。また、今回参加された会員事業所でも発生時の初動対応や避難行動を緻密に設定しておくことは、必要最低限にして最大の成果を得ることが出来ると感じられました。その後、福岡市の市民防災センターでの研修も控えていることもあり、アルコール抜きながら美味しくいただきました。その後、福岡市の市民防災センターでの研修も控えていることもあり、アルコール抜きながら美味しくいただきました。

予定どおり午前中の研修を終え東峰村を後にし、朝倉市のキリンビアファームでジンギスカンの昼食を参加者と談笑しながら美味しくいただきました。その後、福岡市の市民防災センターでの研修も控えていることもあり、アルコール抜きの昼食で事務局として申し訳ない思いでした。

食事も済ませ、前述の市民防災センターへ行き、消火体験、暴風体験など説明員の指導のもとに体験をしました。なかでも、VR体験（火災・風水害）は、京都アニメーション火災で社員36人が死亡、34人が重軽傷をおわれた日本国内の事件では過去に類を見ない大惨事の放火火災で、被災者の中に福岡出身の方がおられ、その方の遺族が二度と同じような被害を発生させない、風化させてはいけなないとVR体験装置一式（火災・風水害）を寄贈されたという貴重なお話しを聞き、胸が締め付けられる思いで体験をさせて頂きました。

終わりに、この度の研修を通して、毎年、全国どこかで発生する風水害や地震による被害を未然に防ぐことはできないかもしれないけれど、被害軽減のため、「自分の身は自分で守る」を基本理念として、本研修で体験したことを活かしていきたい。（一部 東峰村 豪雨災害の記録引用）



がんばろう 東峰村
(寄せ書き)

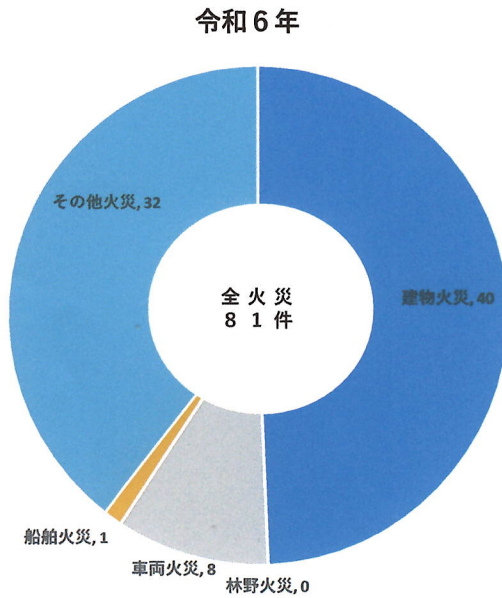
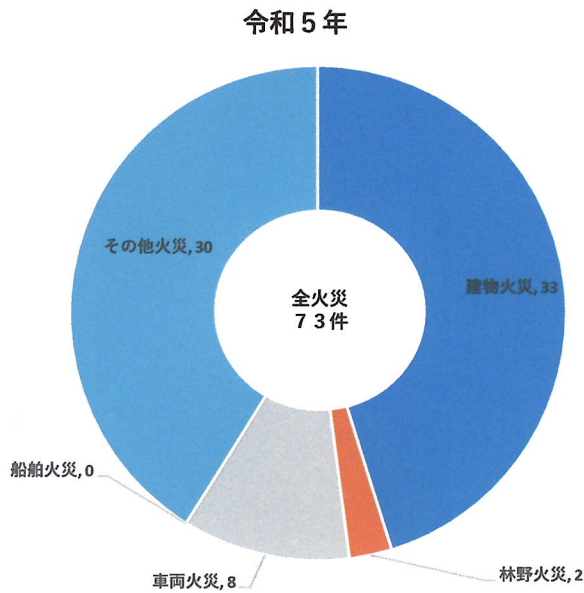


災害伝承館での研修風景

下関市火災発生状況 令和6年火災件数81件

令和6年の火災件数は81件で前年に比べて8件の増加となりました。

火災種別では建物火災が40件と全体の49%を占めています。出火原因では、「たき火」「こんろ」「たばこ」がワースト3となっています。



火災による死者は6人で、昨年と比べて4人減少しました。火災の大半は、ちょっとした不注意や油断から起こっています。日頃から心がけ火災予防に努めましょう。

2024年度全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心

事務局だより

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素より協会運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

協会事務局といたしましては、会員事業所が取組まれる防火・防災事業を推進し災害のない明るいまちづくりのお役に立てるよう尽力してまいりますので、本年も引き続きよろしくお願いいたします。

会費納入のお願い

今年度も残すところわずかとなりました。会費を納入されていない会員事業所におかれましては、早急に納入していただきますようお願いいたします。

振込先等詳細につきましては、協会事務局にお問い合わせください。

下関市防災協会

TEL 083・233・9114
FAX 083・233・9122